

共通目標

豊かな地域を支える競争力の高い農林水産業の振興

=多様な農林漁業者が心豊かに生き活きと活躍できる農林水産業の展開=

- ・農林水産業を起点とする産出額3,000億円のさらなる拡大
- ・地域農業を牽引する競争力の高い経営体(農業のトップランナー)の育成
- ・多様な担い手による農林水産業の活性化

《基本戦略:5つの戦略》

- ◎競争力の高い農林漁業経営体の育成
- ◎農林水産業を起点とする多様な経営展開
- ◎県産農林水産物の流通・販売の促進
- ◎農山漁村資源の積極的活用
- ◎農林水産業を支える人材・基盤づくり

分野別取組方向:10分野ごとに取組方向・工程・重点PJを設定

担い手・人材育成

土地利用型作物

園芸作物

畜産

環境農業

6次産業化・流通販売

生産基盤整備

林業

水産業

その他

《H28 県域重点プロジェクト(60プロジェクト)》

■担い手・人材育成

農業トップランナー育成・発展PJ、農業法人経営発展総合支援PJ、新規就農者の確保・育成PJ、農業経営効率向上を図る農地集積・集約促進PJ、輝くアグリウーマン育成PJ、林業人材育成PJ、漁業生産の担い手の育成・確保PJ

■土地利用型作物

つや姫をはじめとした県産米の生産・販売戦略PJ、米新品種「山形112号」ブランド化戦略PJ、飼料用米生産・利用拡大PJ、県産大豆利用拡大PJ、美しいやまがた「そばの里」づくり推進PJ

■園芸作物

さくらんぼ産地強化PJ、さくらんぼ世界一PJ、さくらんぼ労働力確保PJ、りんご産地再生PJ、西洋なし産地活性化PJ、びどう「シャインマスカット」産地化PJ、「北の桃源郷ももづくり」産地化PJ、土地利用型野菜産地強化PJ、山形えだまめ日本一産地化PJ、高収益型野菜産地強化PJ、やまがた次世代型施設園芸推進PJ、冬の農業活性化PJ、花き生産性向上PJ

■畜産

畜産生産基盤強化PJ、やまがたの和牛増頭支援PJ、山形県産豚肉銘柄推進PJ、やまがた地鶏銘柄向上PJ、やまがた畜産品高付加価値化PJ

■環境農業

環境にやさしい安全農産物生産推進PJ、エコ農産物情報発信力強化PJ、有機農業の取組拡大PJ

■林業

やまがた森林ノミクス」推進PJ、県産木材利用拡大PJ、木質バイオマス利用促進PJ、やまがた山菜・きのこ日本一産地化PJ

■水産業

豊かな海づくりPJ、県産水産物の付加価値向上PJ、庄内浜の魚消費拡大総合PJ、水産加工業振興PJ

■6次産業化・流通販売

食産業王国やまがた構築PJ、地域土産品開発推進PJ、米粉・加工用米利用拡大PJ、県内食品製造業による県産農産物利用拡大PJ、食育・地産地消県民運動展開PJ、農林水産業ウーマノミクスPJ、元気な地域づくり支援PJ、県産農産物等販路拡大・ブランド力向上PJ、雪国山形伝統野菜振興PJ、県産農産物等輸出拡大PJ

■生産基盤整備

水田汎用化基盤強化PJ、低コスト化に向けた基盤整備促進PJ、農村インフラ機能保全PJ、中山間地域持続的農地保全推進PJ、再生可能エネルギー導入推進PJ、小水力発電活用農村活性化PJ

■その他

鳥獣害被害防止対策PJ、農業災害対策強化PJ、農業情報発信力強化PJ

《H28 地域重点プロジェクト(68プロジェクト)》

■村山…15PJ

■最上…17PJ

■置賜…19PJ

■庄内…17PJ

主な成果指標の進捗状況

■主要目標指標の達成状況

【項目】	【目標(H28)】	【直近の実績】
◎農業産出額		
・米※1	1,000億円	757億円(H26)
・園芸作物※2	1,100億円	1,090億円(H26)
・畜産※3	500億円	447億円(H26)
◎新規就農者数	300人	280人(H27)
◎販売金額1,000万円以上の家族経営体数	3,200経営体	2,351経営体(H27)
◎販売金額3,000万円以上の組織経営体数	400経営体	199経営体(H27)
◎農と食による地域の魅力づくりに取り組む産地数	44件	41件(H27)
◎学校給食の自給率(野菜)	40%(H28)	36.3%(H27)
◎全国育樹祭の開催	H26年度開催	H26.10開催
◎全国豊かな海づくり大会の開催	H28年度開催	H28.9開催予定

※1 経営所得安定対策交付金を含めた金額

※2 種苗・苗木、いも類、工芸作物等の産出額を含めた金額

※3 畜産加工付加価値額、堆肥等の産出額を含めた金額

進捗の概要とH28の対応状況

■H26の農業産出額は、園芸と畜産が前年より増加し目標に近づいているものの、米は、米価の大幅下落によって前年を大きく下回っている。

※なお、H27農業産出額は未公表であるが、前年より販売単価が上昇した米並びに園芸作物、子牛価格や枝肉価格等が上昇した畜産のいずれの産出額ともH26を上回る見込み。

■新規就農者は、H22から5年連続で200人を超え、H27はS60年以降最高の280人となっている。

■H27のトップランナー数(販売金額1,000万円以上の家族経営体数、販売金額3,000万円以上の組織経営体数)は、H26産の米価下落の影響等により、稲作主体の経営体を中心に減少している。

～H28の対応状況～

■本戦略の最終年度となるH28は、米価下落・生産調整の強化等を踏まえ、水田農業における複合化・多角化による農家・農業所得の最大化や、本県農業を牽引するトップランナーの育成や法人化の促進、畜産の経営規模拡大、「食産業王国やまがた」の実現に向けた6次産業化、中山間地域の農林業振興と地域活性化、女性経営者の育成も含めた幅広い農林水産業の人材育成、「やまがた森林ノミクス」の推進等を中心に、戦略の目標達成に向けた重点PJを推進している。